



甲武信地域がユネスコエコパークに

今年6月にフランス・パリで開催されたユネスコの「第31回人間と生物圏計画 国際調整理事会」で、新たに山梨県・埼玉県・長野県・東京都の4都県12市町村にまたがる甲武信地域がユネスコエコパークに登録されました。

この登録により、国内のユネスコエコパークは綾町を含め10地域になり、登録総数は世界124カ国、701地域(令和元年6月時点)となりました。

日本ユネスコエコパークネットワーク大会

日本のユネスコエコパーク登録地域間で情報交換を行うことを目的として設立された日本ユネスコエコパークネットワーク(JBRN)の大会は、7月24日に東京都内で開催されました。平成29年から今大会までの2年間は、綾ユネスコエコパークが事務局を担当しました。



大会では同ネットワークの総会をはじめ、文部科学省による講演会やイオン環境財団との連携事業報告、今年新しく登録された甲武信ユネスコエコパークの概要の紹介、各登録地域での取り組み内容などの紹介が行われ、ユネスコエコパーク関係者間で活発な意見交換が行われました。

次回からは、石川県の白山ユネスコエコパークに事務局が引き継

がれますが、今後も日本ユネスコエコパークネットワークを通じて、国内外の登録地域と連携した活動や、情報発信を進めていきます。

綾町がユネスコエコパークに登録されて8年目に入りました。令和3〜4年にかけて再審査が行われることになっており、ユネスコエコパークとしての10年間にわたる自然環境保全活動や社会・経済活動、大学などと連携した調査研究、環境学習などの取り組みを報告する必要があります。地域の皆さんにも、この広報誌をはじめホームページや調査報告会などを通じて、綾ユネスコエコパークの取り組みを発信していきます。

■綾ユネスコエコパークセンター

☎77-3482

※毎週火曜日休館

10月20日(日)は臨時休館

column

ヌマガエル

イボガエルと呼ばれるカエルのひとつ。町内の田んぼ周辺で最もよく見かけるカエルです。

同じようにイボガエルと呼ばれるものに、ツチガエルがいます。山に多く住み、お腹が褐色のまだら模様をしているツチガエルに比べ、ヌマガエルは全体的にヌメっとしており、お腹は白色で、まれに背中にクリーム色の線が入りません。

最大の特徴として、ヌマガエルには目と目をつなぐようにV字型の模様があります。見た目は地味なカエルですが、田んぼの虫を食べてくれたり、多くの動物に食べられるエサになったりと、綾町の自然生態系を支えてくれている身近で重要な住民なのです。

